

任務を構成する事業評価

No.	1	担当課	総務課
-----	---	-----	-----

1.任務目的

任務目的	各種選挙の適正な管理執行を図るとともに、投票率の向上を図る
------	-------------------------------

2.任務概要

任務概要	各種選挙の適正な管理執行に向けて、公職選挙法の改正対応等の情報把握に努め選挙管理委員会の適正な運営による永久選挙人名簿の管理を行い、任期満了等に伴う各種選挙を適正に管理執行する。また、投票率向上のため継続的に選挙啓発に取り組む中で、選挙権年齢が18歳に引下げられたことを重視し若者向けを中心とした啓発を実施する。
任務の総括	定期的に開催した選挙管理委員会において永久選挙人名簿の処理に関する審議を行うことで、適正な管理が図れた。加えて広域の選挙管理委員会連合会の総会及び研修会に参加することで法改正等に関する情報共有ができた。各種選挙の適正な管理執行においては県政選挙及び国政選挙について大きな問題はなく執行することができた。明るい選挙への取組みとしては市内高校での出前講座及び選挙時の選挙啓発を実施したが全国的に見ても若者の投票率が低いことから、引き続き若者への選挙啓発が必要と感じている。

3.任務目的を構成する事業

事業名(中分類)	選挙管理委員会の適正な運営	予算事業番号 (予算事業名)	2.4.1.102090(選挙管理委員報酬費) 2.4.1.102868(選挙管理委員会総務費)
事業(中分類)概要	<ul style="list-style-type: none"> 各種選挙の適正な管理執行に向け、定期的に選挙管理委員会を開催し、投票の根拠となる永久選挙人名簿の登録及び抹消等を実施 広域の選挙管理委員会連合会に参加し、制度に関する要望事項の審議や公職選挙法の法改正等に関する情報共有を実施 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 年4回(6月・9月・12月・3月)、選挙人名簿の登録及び抹消に係る選挙管理委員会(定時登録)を開催し、登録及び抹消を行った。また、国外転出者が国政選挙執行の際に投票可能となる在外選挙人名簿登録制度について、届出のあったものについて審議を行い、登録及び抹消を行った。 4月に静岡県各市選挙管理委員会連合会通常総会に出席し、前年度決算や事業計画等について審議。また、連合会主催の選挙管理委員会委員長・書記長会議(10月)、書記長会議(8月)、事務研究会(9月及び11月)に出席し、議案の審議及び課題等に関する情報共有を行った。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 選挙人名簿の登録・抹消に係る被登録資格の確認等(選挙管理委員会による独自の実態調査等)。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 選挙の際に有権者へ送付する投票所入場券はがきの返戻状況を住基担当課と情報共有するなど、住基担当課による職権消除の材料となる方策を検討し、永久選挙人名簿の適正管理に努める。 公職選挙法の改正により、選挙人名簿の縦覧制度の廃止や表示登録制度の導入など、個人情報保護や1票の価値を高める法改正が進められている。上記会議等への出席により迅速な情報収集に努め、各市選挙管理委員会の取組状況を把握し、適正な対応を目指す。 		

事業名(中分類)	各種選挙の適正な管理執行	予算事業番号 (予算事業名)	2.4.3.102112(県議会議員選挙費) 2.4.4.102095(参議院議員選挙費)
事業(中分類)概要	<ul style="list-style-type: none"> 任期満了に伴う県議会議員選挙及び参議院議員選挙の適正な管理執行 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 県政選挙については、任期満了に伴う静岡県菊川市県議会議員選挙が平成31年4月に執行された。県より併任を受け選挙長事務を行い、書類の作成、選挙会の開催、当選証書付与等を行った。 国政選挙については、任期満了に伴う参議院議員通常選挙が令和元年7月に執行された。選挙執行に係る書類の作成、資機材及び人員配置などの準備、選挙管理委員会の開催、期日前投票事務、選挙期日投票事務、開票事務等を行った。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 期日前及び選挙当日投票立会人、期日前投票事務従事者の確保。 選挙資機材の老朽化。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年1月に菊川市長及び菊川市議会議員選挙の執行が予定されている。投票立会人や期日前投票事務従事者については、各市の取組状況を参考に検討を進める。 		

事業名(中分類)	明るい選挙への取組み	予算事業番号 (予算事業名)	2.4.2.102093(明るい選挙推進費)
事業(中分類)概要	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県明るい選挙推進協議会及び西部明るい選挙推進協議会総会及び研修会等への出席 選挙制度等に関する出前行政講座の開催 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年12月に静岡県西部明るい選挙推進協議会主催の研修会に出席。令和2年2月末に静岡県西部明るい選挙推進協議会総会へ出席した。 令和元年6月に静岡県立小笠高等学校3年生を対象とした出前行政講座を実施し、模擬投票を中心として投票することの意義等を説明した。令和元年11月に静岡県立小笠高等学校1・2年生を対象とした出前行政講座を実施し、選挙制度の概要を説明した。令和2年2月に常葉大学附属菊川高等学校2年生を対象とした出前行政講座を実施し、県内の若者で形成される「若者選挙パートナー」による模擬投票の実施及び選挙制度の概要説明を行った。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 選挙権年齢引下げに伴う若者への選挙啓発及び投票立会人や選挙事務従事者への活用。 菊川市明るい選挙推進協議会委員の確保及び活動内容の検討。 出前行政講座の内容見直し(講義形式、グループワーク形式かの検討。主権者教育を中心とするか否かなど)。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 選挙権年齢の引下げにより、若者の選挙に対する意識は学校を中心に高まりつつある。それにより多くの選挙管理委員会で若者の選挙事務等への活用を進めているため、取組状況の把握に努める。また、教育の場でも主権者教育が活発化していることから、教育との連携により学生の理解向上を促す取組を進める。 		

任務を構成する事業評価

No.	11	担当課	総務課
-----	----	-----	-----

1.任務目的

任務目的	入札・契約の適正化を推進する
------	----------------

2.任務概要

任務概要	公平、公正な契約制度のもとに、適正価格で品質の良い社会資本の整備や行政サービスの提供を実施できる契約を推進するとともに、契約を通じて市内事業者の育成と地域経済の活性化に努める。また、入札事務の簡素化や効率的運用のため電子入札システムを活用する。
任務の総括	効率的な行政サービスの提供に資する契約締結のため、適正に入札契約事務を執行した。適正な入札・契約を実施していくため、例規の見直し及び担当者への説明会を行った。

3.任務目的を構成する事業

事業名(中分類)	適正な入札・契約事務	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.3102854(財政管理総務費)
事業(中分類)概要	各課が行う発注事務の適正実施のため各種通知を送付するとともに、本市の契約制度に沿った手続きを履行できるよう入札関連事務を執行する。本市が定める入札に参加するための資格者名簿の適正管理及び、電子入札システム登録情報の適正管理を行う。		
取組内容・結果等(D)	各課の発注事務の予定決定のため、指名審査委員会及び入札予定日の通知の送付を行った。 各課の発注事務の予定価格漏洩防止のため、指名審査委員会運営方針及び各課起案書の閲覧方法について変更した。 各課の発注事務の適正な遂行のため1000件を超える執行伺(入札及び随意契約)を確認し必要により指導を行った。 各課が行う発注事務の適正実施のため、指名審査委員会を24回開催し、入札(電子入札含む)を27回開催した。 本市入札の適正執行のため、入札参加資格者名簿の更新を行い、建設工事13者、測量・建設コンサルタント12者、物品販売・役務提供63者(計88者)の追加申請を受付し、加えて、変更届の提出のあった381件について名簿の修正を行った。 電子入札システムの適正運用のため、登録状況の修正及び新規登録を入札参加資格者からの届出をもとに110件行った。		
課題・問題点等(C)	年間入札予定の公表を外部に行う事が有効であるが、会場や執行吏員の予定調整から現状のままでは難しい。 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の要請もあり、情報発信の積極的な取り組みが求められている。 発注見直し公表については、補正予算毎に更新することが望ましいが、現在は当初と下半期の2回公表に留まる。 入札参加資格審査申請の随時受付について需要はあるが、事務体制が整わず対応できていない。		
今後の方向性(A)	発注事務の合理化に努め、職員や入札参加者の負担軽減に配慮すると共に、年間の入札予定の公表等を検討する。 積極的な情報発信を継続すると共に、本市の入札契約制度の基本的な事項を定期的にまとめるなど外部に対しては積極的な周知に努める。また、随意契約理由や指名理由の公表、契約状況の公表等に向けた取り組みを推進する。また、補正予算毎の発注見直し公表に向けて取り組む。 入札参加資格審査申請の内部事務について簡素化に取り組み、可能な限り隔月受付等による参加資格の随時受付について検討する。		

事業名(中分類)	適正な入札・契約制度の整備	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.3102854(財政管理総務費)
事業(中分類)概要	現行の入札制度について適正化を図るため、例規等の見直しを行う。 本市入札制度の適正運用のために、庁内各課に制度の周知を行う。		
取組内容・結果等(D)	本市入札制度の適正な運用を推進するため、工事契約事務担当者説明会を実施した。 本市契約業務の適正化を図るため、菊川市契約規則等の見直しを行った。 インターネットオークションにより、公有財産の売却を行った。		
課題・問題点等(C)	地方自治体の入札は一般競争を原則とするが、本市入札における一般競争入札の適用範囲拡大には制度及び事務体制の検討が必要である。 建設コンサルタント業務について制限価格制度の導入可否を検討する必要がある。 入札契約に係る制度は実施、改正の都度周知を図っているが、時間の経過と共に周知の効果が薄れる。 工事担当者向けの説明会は実施しているが、契約事務に関わりの少ない部署の契約事務への理解が進んでいない。 民法改正に伴い、契約約款の見直しを行う必要がある。		
今後の方向性(A)	建設コンサルタント及び物品役務における一般競争入札の適用について検討をし、効果的であれば実施に向けた取り組みを推進する。 建設コンサルタントにおける品質確保の観点から低入札価格調査制度又は最低制限価格制度の導入について検討を行う。 職員に対して入札契約事務の適切な実施について定期的な周知に努めると共に、入札契約事務マニュアルに制度改正の内容を随時反映させるように努める。また、入札契約事務に携わる機会の少ない職員に向けた研修やリーフレット等による、事務能力向上を図る。		

任務を構成する事業評価

No.	14	担当課	総務課
-----	----	-----	-----

1.任務目的

任務目的	公共工事(関連業務委託)において、書類等が適正に処理されるとともに、良質な公共施設が提供されている状態
------	---

2.任務概要

任務概要	工事担当職員の技術知識向上や受注者の安全管理の指導などを実施するとともに、厳正かつ的確な検査を行う。
任務の総括	公共工事の品質が確保されるよう、検査、工事成績評定及び担当者への指導を年間を通じて実施した。

3.任務目的を構成する事業

事業名(中分類)	工事(委託)関係調書に関する確認及び検査	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.3.102854(財政管理総務費)
事業(中分類)概要	公共工事及び工事関連業務委託について、中間検査や完成(完了)検査を行うほか、工事関係提出書類をチェックし、受注者及び担当職員に指導している。		
取組内容・結果等(D)	工事成績評定の平均点については概ね前年並みであり、工事の品質は確保されている。		
課題・問題点等(C)	工事に携わる現場技術者の不足が全国的な問題となっている。 発注時期の平準化。		
今後の方向性(A)	市内受注者との懇話会や検査時の指導を継続して行う。 現場代理人の常駐義務緩和条件の検討。 工事関係提出書類の簡素化を図り、発注者、受注者双方の負担を少しでも軽減するよう努めていく。		

事業名(中分類)	担当者及び検査員のスキルアップと現場の安全管理	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.3.102854(財産管理総務費)
事業(中分類)概要	設計図書及び工事関係提出書類をチェックし、指導を行っている他、市の工事担当職員を対象に研修会を開催している。 受注者及び市職員に対し、安全管理の指導に努めている。		
取組内容・結果等(D)	工事担当職員の知識向上の為、担当者研修会を計3回開催した。 静岡県検査員連絡会での情報交換や検査員研修への参加。 市内の受注者及び市職員を対象に安全管理講習会を開催した他、検査時には安全管理のチェックを行った。市発注工事において労働災害が発生したため、発生状況及び再発防止対策の確認を行った。		
課題・問題点等(C)	土木・建築工事を経験した職員の減少による、監督員の技術力・現場管理能力の不足が課題である。		
今後の方向性(A)	公共工事の品質確保の為、市内研修会や検査を通じて、市の担当者の指導を継続して行う。 中間検査時に、現場の安全管理が適切に行われているかチェックすると共に、施工者の安全点検を励行する。		